

こ みち
教育の小径

【今月の花】
ケイトウ
【花ことば】
おしゃれ・
色あせぬ恋

今月の記念日

バスの日(9月20日)

明治36年(1903年)のこの日、蒸気自動車を改良した乗合自動車が京都の町をはじめて走りました。このバスは6人乗りで、幌(雨や風を防ぐ覆い)がなかったと言います。この日は「いつでも、どこでも、みんなのバス」をテーマに定められました。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

生涯学習と学校教育の役割

- 生涯学習は、仕事や職業をよりよくするとともに、毎日の生活をより豊かに送るために行われる自発的、主体的な学習です。
- 学校教育では、子どもたちに生涯にわたって学び続けようとする意志と態度と能力の基礎を育てることが求められています。

人生における生涯学習とは

「生涯学習」と言われるようになって随分時間が経ちます。なぜ、生涯学習が求められるようになったのでしょうか。これには主に次の二つのことが考えられます。

一つは、いま生きている社会が日進月歩激しく変化し進歩していることがあげられます。このことは、学校で学んだ知識や技能がいつまでも通用しないことを意味しています。学習するという営みが、学校教育で完結する時代ではなくなったということです。

例えば、日常の生活や仕事において新しい情報機器が開発されると、それを使いこなすための研修が必要になります。金融環境が変化すれば、新しい知識を学ばなければなりません。生涯学習は、よりよい生活を送るために日々の問題を解決するための学習であると言えます。

いま一つは、人生をより豊かに生きていくために求められるのが生涯学習です。いまや人生90年とさえ言われる高齢社会を迎えています。長い人生においては、仕事や職業だけでなく、自らの趣味や得意分野を生かしながら自らの生活を楽しく充実したものにすることを誰もが願っ

ています。

毎日の仕事をしながら、俳句や短歌をつくったり、陶芸や絵画や英会話などの教室に通ったりしている人もいます。旅行や映画を楽しんでいる人もいます。公民館や大学などの教養講座に参加している人もいます。これらはすべて自らの意思によって、自らの人生をより豊かにする自発的な学習です。

このように、生涯学習には仕事や職業とともに、毎日の生活を豊かなものにするという役割があります。

生涯学習できる資質・能力とは

生涯学習は学校教育と違って、基本的には自らの意思や意欲と問題意識にもとづいて、自発的、主体的に取り組む学習です。学校教育のように強制されたり義務として行ったりするものでもありません。では、将来生涯学習ができるようになるために、学校教育はどのような役割を果たさなければならないのでしょうか。

このことをひとことでは、生涯にわたって学び続けようとする意志と態度と能力の基礎を育てることだと言えます。具体的にはどういうことでしょうか。学校教育と生涯学習の違いを考えると分かりや

すいでしょう。例えば次のようなことがあげられます。

まずは何といっても、問題や課題を見いだす力を育てることです。生涯学習は自発的な営みですから、取り組む対象を明確にする必要があります。そのためには、学びたいという意志や意欲とともに、知的な好奇心や探究心などを育てることが重要になります。

次に、自発的に取り組むためにはその計画を自ら立てる必要があります。問題や課題などやりたいことを実現させるために、どのような情報を集めればよいのか。どこに行けばよいのか。だれに助言を求めるとよいのか。さらにどのような準備が必要なのかなど、学習を成立させるあらゆる要素について自ら計画する力(企画力)が求められます。

そして、計画にもとづいて自力で取り組む資質や能力を育てることです。最後までやり抜く強い意志や根気、必要に応じて助言を求める態度、時には仲間と協力することも必要になります。

最後に、自らの学習や取り組みに対して自己評価することです。生涯学習では、他者から評価されることは二の次です。自ら成就感や達成感を味わうことが学びがよいや生きがいに繋がります。

道徳の時間は、道徳教育の要として重要な役割をもっています。指導に当たっては教材が必要ですが、道徳は教科ではありませんから、教科書は作成されていません。そのため、副読本という補助教材を用意する必要があります。多くの学校では、民間の教材会社が編集した副読本を使用しています。

地域の先人の業績を教材にした、地域版の副読本を作成し、地域に密着した道徳の授業を展開しているところもあります。

道徳の副読本は学校単位や市区町村単位で選定されています。費用は、保護者が負担したり教育委員会が補助したりしています。使用する際には、各学校が教育委員会に届け、承認を得ることになっています。

副読本はそのほとんどが読み物教材です。そのために、授業は題材を読み進めながら、登場人物の課題や心情を考えさせる構成になっています。そのため、これまでは副読本を活用した座学による授業が中心でした。これはこれで重要な授業の方法です。

最近では、ボランティア活動や自然体験活動などとおして、子どもの内面に根ざした道徳性を育てることも求められています。道徳教育においても活動や体験が重視され、授業のあり方や方法が問いなおされています。

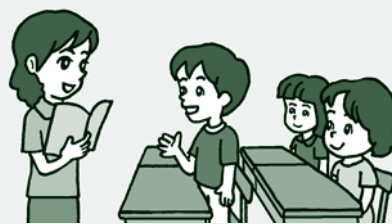
教師は授業の場で、子どもたちに発言することを求めます。子どもは教師が考えている内容を知る由もありませんから、自分の思いや考えを自由に発言します。それは教師が期待している内容ばかりではありません。明らかに間違ったことや、時には予知していないことも出されます。

子どもの発言を生かすポイントの一つは、教師が予めどのような内容のことを発言させたいのかを明確にもっていることです。このことによって、優れた発言内容には褒めるなどの言葉をかけ、不十分な内容には必要な助言をすることができるようになります。発言させたい内容を明確にしないと云わせっぱなしになり、子どもたちの理解や思考が深まっていきません。大切なことが確認されないまま、授業が進行

することにもなります。

いま一つのポイントは、教師からみて誤っていたり不十分だったりする発言内容を「教材」として活用することです。発言を生かす力は教師に求められる重要な授業力と言えます。

教材は教師が用意するだけではありません。子どもから出される発言の内容も大切な教材です。前者が「ある教材」であるのに対して、後者は「なる教材」です。



教育キーワード 民間人校長

一般の企業で管理職を務めた人を学校の校長として迎えるという「民間人校長」が任用されています。

民間人校長の登用がはじめて提唱されたのは、平成10年に出された中央教育審議会答申「地方教育行政の在り方」です。これを受けて、平成12年に学校教育法施行規則が改正され、教員免許状や教職の経験がなくても校長として任用することができるように

りました。

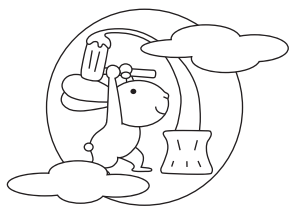
これには、民間の発想を生かした学校経営をとおして、特色ある教育活動を展開し、学校に活力を生み出すためというねらいがありました。このねらいはある程度実現されています。

しかし、これらの人たちは必ずしも教育の専門家ではありません。そのため、受け入れる側との間に意識のギャップが生まれることもあります。

学級通信に使える今月のイラスト



運動会の応援



月のうさぎ

お知らせ

「教育の小径」インターネットでも好評配信中!

本誌と同じレイアウトで、インターネット上でお読みいただけます。お知り合いの先生にもぜひお勧めください!

<http://www.bunkei.co.jp/2011/monthly.html>
または「ぶんけい 教育の小径」で検索。



企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂 発行日：2011年9月1日

Information (PR) 北俊夫先生の新刊です!

言語活動は授業をどう変えるか

近日刊行

一考え方と実践のヒント一

なぜ、言語活動の充実なのか?
各教科・領域にわたり、
理論から具体的な指導のポイント、
評価の方法までを平易に解説。

◎著者/北 俊夫
◎定価/998円(本体950円+税)
◎発行/株式会社文溪堂

A5判 112ページ

